

手をつなごう・助け合う心と心

東根市地域福祉活動計画ダイジェスト版

東根市社会福祉協議会



1. 地域福祉活動計画とは

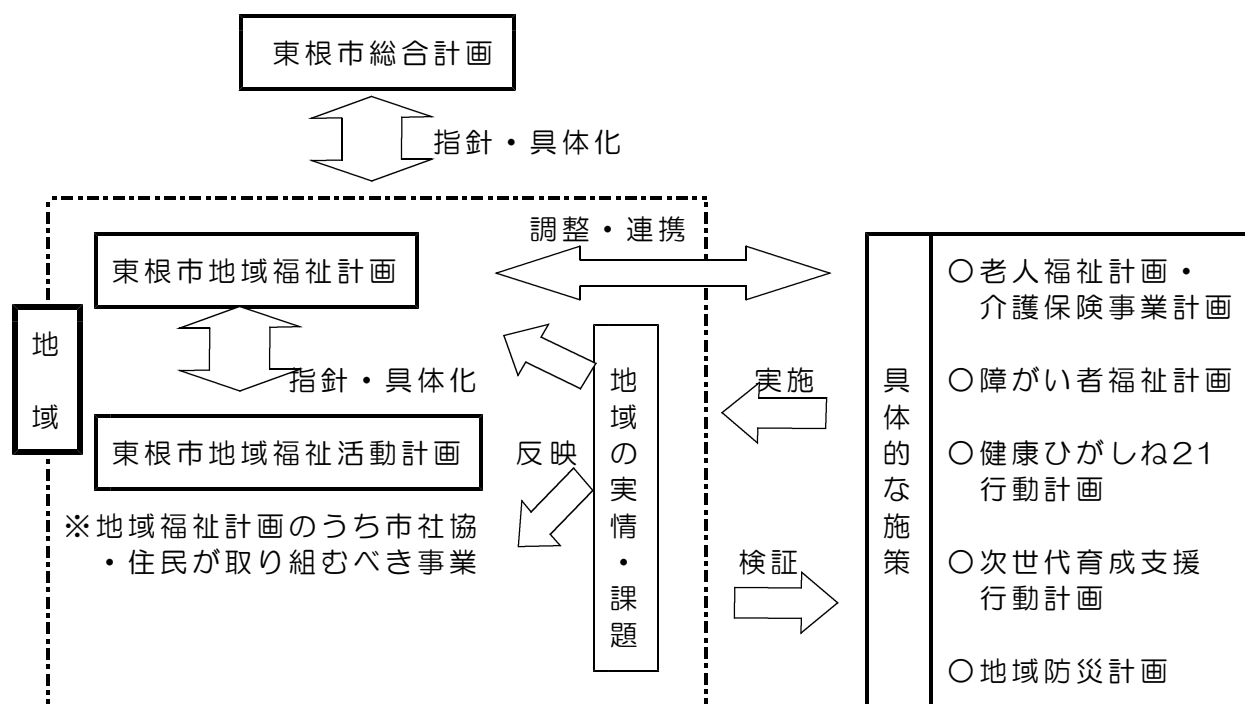
市町村社会福祉協議会は、社会福祉法第109条において「地域福祉の推進を目的とする団体」とされ、「地域福祉活動計画」は、市町村の策定する「地域福祉計画」を踏まえ、地域福祉推進の中核となる社会福祉協議会が幅広い住民や関係団体などとの協働により進めるものとされています。

社会福祉協議会は、これまでも自治組織はじめ地域の各種団体との連携のもとで、住民福祉活動の推進や福祉サービスの利用援助、関係機関・団体等の連絡調整の活動を行ってきました。

「誰もが住み慣れた地域で、安心・安全に暮らしていく」ことは、私達共有の願いです。社会福祉協議会は、その実現にむけて、市、福祉関係者をはじめ、地区社協や自治組織、地域住民等とより深い連携を図りながら、この計画を策定します。



2. 地域福祉活動計画の位置づけと体系



3. 地域福祉活動計画のねらい

① 支え合う地域住民

地域住民同士が話し合いや世代間をこえた交流を通して、地域福祉に関する課題や活動に対しての理解を深め、お互い助け合い、支え合える住民同士の関係を育んでいきます

② 地域福祉活動はまちづくり活動

地域福祉活動はまちづくり活動の一環です。地域住民をはじめ、ボランティアやNPO法人、当事者組織など地域において福祉活動を行う様々な主体がお互いにつながりを持ち、日常的な協力関係を築いていくことが大切です。

③ 住民参加・参画による福祉のまちづくり

福祉のまちづくりを進めていくためには、住民自体が、自ら考え、自ら判断し、自ら行動することが大切です。住民が自分自身のことや地域福祉のことについて判断や選択し、行動するまちづくりを推進します。

④ 顔の見えるまちづくりのための条件整備

上記3つの視点に加え、地域福祉活動に熱意のある人同士の有機的な連携が必要であり、それらを調整し、事業化を図る人材の発掘・育成が必要となります。

さらに、地域福祉活動を推進するための組織づくりへの支援も必要です。

4. 地域福祉活動計画の計画年次と策定方法

この計画の期間は概ね3年程度とし、東根市の「地域福祉計画」との整合化をはかり、相互に連携しながら地域福祉を推進していきます。

計画の見直しに当たっては、今後、計画の進捗状況や社会情勢等の変化、また、市

の動向に応じて必要な見直しを行っていくものとします。

(年次計画)

推進事業項目(具体的事業)	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9
東根市地域福祉活動計画の推進	推進	推進	必要に応じて見直し		
東根市地域福祉計画の推進	推進	推進			
第二次東根市地域福祉計画 画・第二次東根市地域福祉 活動計画活動計画			策定		

(1) 策定委員会

社会福祉協議会理事会(15人)を策定委員会として、この計画を策定しました。

(2) 策定懇談会

この計画を策定するにあたり、広く市民等の意見を反映するため、市民から公募等による策定懇談会(9人)を設置し、計画内容等をチェックしていただきました。

(3) 策定幹事会

この計画の原案調整を行うため、社会福祉協議会職員及び市福祉課職員で構成する策定幹事会を設置し、具体的な計画内容をまとめました。

5. 本市の状況と課題

近年の少子高齢化、核家族化の進展は、社会構造に大きな変革を来し、とりわけ家族や地域における人間関係の希薄化、さらには雇用環境の悪化など地域福祉を取りまく社会情勢は大きく変化しています。

本市の人口は、46,424人(平成22年国勢調査)と微増傾向にあるものの、生産年齢人口や年少人口に対し高齢者人口の伸びが大きく、本市人口の4人に1人(高齢化率24.4%)を高齢者が占めています。さらに、将来人口推計によりますと、30年後の人口は4,383人減少し42,031人となり、人口の3人に1人(高齢化率33%)が高齢者になるといわれています。

このような少子高齢化の進展に伴い、地域活力の低下や高齢者が安全、安心に暮らすための生活環境の悪化が懸念されるところです。

かつて、農村集落などの地域社会は、「ゆい」や「おたがいさま」といった相互扶助により人々の暮らしは支えられてきましたが、高度成長期の中で、地域社会が変わって行政が福祉サービスとして高齢者や障がい者等に対する支援を行ってきました。

しかし、多様化し拡大する住民の福祉ニーズに対し、制度の谷間にある問題や福祉サービスで対応が困難な事例も生じています。

このような中、市民の誰もが、年齢や性別、障がい等の有無にかかわらず、住みなれた地域で安心して暮らすためには、市民一人ひとりが「地域福祉への理解を深め、自ら考え、自ら判断し、自ら行動し、お互いに助け合い支え合う、新しい仕組み」を構築することが喫緊の課題となっています。

6. 地域福祉活動計画の基本理念

〈基本理念〉

思いやりの言葉がやまびこのように行き交うまち ひかしね



本計画では、市の「地域福祉計画」の基本理念を共有し、市民一人ひとりが互いに支え合い、安心して住み続けたいと思えるようなまちづくりを目指します。

急速に少子高齢化が進むなか、住み慣れた地域で、誰もが安心して生活が出来る地域社会を実現するためには、地域住民一人ひとりが理解し合い、支え合う関係を築いていくことが大切です。

なかでも、いざというときに頼りになるのは、ご近所や隣組など地域の皆さんです。

地域の人たちが、共に助け合い、支え合うことを「地域力」と位置づけ、これを高めていくことで、豊かな心と思いやりが溢れ、誰でもが住みたくなるような「地域社会」を築くことを、この計画の目標としました。

7. 地域福祉活動計画の体系

《基本目標》

《事業計画》

基本理念

思いやりの言葉がやまびこのように行き交うまち ひがしね

1. 地域福祉を進めるしくみづくり

質の高い福祉サービスの向上とわかりやすい情報の提供、身近で親しみやすい相談体制づくりなど福祉事業の健全な発展に取り組みます

- (1) 福祉サービスの充実と質の向上
- (2) 権利擁護の推進
- (3) 各種相談活動の充実

2. 住民参加と活動基盤づくり

地域福祉に対する住民の参加を促すとともに地域福祉活動の拠点である社会福祉協議会と地区社協の連携を図っていきます。

- (1) ボランティア活動の推進
- (2) 福祉教育の推進
- (3) 地域福祉ネットワークの形成

3. 支えあうしくみづくり

高齢者世帯や障がい者、子育て世帯、制度の谷間にある人々、問題を抱える世帯など地域の中で支援を必要とする人たちを支え、見守るしくみづくりを進めます。

- (1) 住民交流の場づくり
- (2) 見守り体制の整備
- (3) 地域力の醸成

4. 暮らして安心の環境づくり

高齢者や障がい者、子ども達を災害や犯罪から守り、地域ぐるみで誰もが住みやすい地域づくりを推進します。

- (1) 災害時の対応
- (2) 犯罪等から市民生活を守る運動
- (3) 生活環境の整備

5. 信頼される社協づくり

誰もが住み慣れた地域で安心していきいきと暮らしていくための地域福祉活動の拠点として、市民の信頼に応えるよう、組織の強化、マンパワーの整備、開かれた社協づくりを推進します。

- (1) マンパワーの整備
- (2) 在宅福祉事業の充実
- (3) 組織強化と財源確保
- (4) 広報啓発活動の推進
- (5) 地域福祉ニーズ発見機能の強化

《具体的な事業内容》

1.地域福祉を進めるしくみづくり

(1)福祉サービスの充実と質の向上

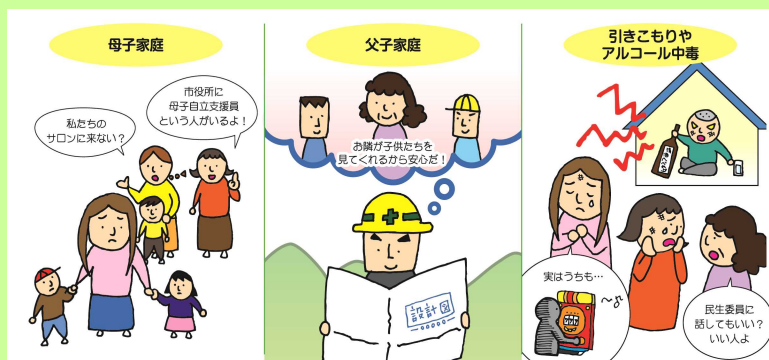
- ①介護事業所と医療機関等のネットワーク化 ②地域包括ケアの推進 ③インフォーマルサービス等の検討

(2)権利擁護の推進

- ①福祉サービス利用援助事業の実施 ②成年後見制度の啓蒙普及・利用支援 ③法人後見制度等の検討 ④高齢者虐待防止 ⑤消費者被害の防止

(3)各種相談活動の充実

- ①ふれあい総合相談所の充実 ②総合相談支援業務の充実 ③生活資金・たすけあい資金の適正な貸付と償還指導の充実



2.住民参加と活動基盤づくり

(1)ボランティア活動の推進

- ①ボランティア市民活動支援センターの設置 ②ボランティア活動の啓発 ③ボランティアの育成 ④ボランティア活動の支援

(2)福祉教育の推進

- ①福祉教育推進事業協力校 ②福祉体験学習の実施 ③福祉学習の支援

(3)地域福祉ネットワークの形成

- ①各種団体の連携 ②自治会における福祉活動の促進 ③各地区社協との連携



3.支えあうしくみづくり

(1)住民交流の場づくり

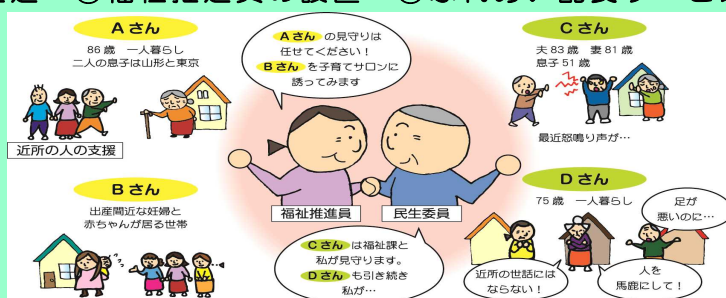
- ①世代間交流の促進 ②ふれあい・いきいきサロンの設置支援 ③ふれあい・いきいきサロン運営者への支援

(2)見守り体制の整備

- ①高齢者見守りネットワークの推進 ②福祉推進員の設置 ③ふれあい配食サービス事業の実施 ④認知症サポーター養成講座の実施

(3)地域力の醸成

- ①ともに支え合う風土づくり ②中高齢者の地域活動への参加促進 ③子ども会育成事業に対する支援 ④学童保育所に対する支援 ⑤子育てサロン等に対する支援 ⑥障がい者（児）への支援 ⑦ひとり親家庭への支援



4.暮らして安心の環境づくり

(1)災害時の対応

- ①災害時要援護者の支援
- ②福祉サービス利用者の安全確保
- ③災害ボランティアセンターの立ち上げ
- ④防災に対する啓発



(2)犯罪等から市民生活を守る運動

- ①社明運動の推進
- ②地域の防犯活動を支援

(3)生活環境の整備

- ①良好な環境整備とバリアフリー化の推進
- ②車イス貸出事業

5.信頼される社協づくり

(1)マンパワーの整備

- ①相談技術の強化
- ②福祉サービスを支える人材の確保・育成
- ③社協職員研修の充実

(2)在宅福祉事業の充実

- ①居宅介護支援事業
- ②訪問介護事業
- ③訪問入浴介護事業
- ④障がい者総合支援事業(居宅介護)
- ⑤生きがい活動支援通所事業(いきいきデイサービス)

(3)組織強化と財源確保

- ①住民基盤の組織づくり
- ②共同募金会との連携
- ③自主財源の強化と運用

(4)広報啓発活動の推進

- ①広報誌「社協だより」の発行
- ②ホームページの開設
- ③市民モニター制度導入の検討
- ④地域福祉推進大会の開催

(5)地域福祉ニーズ発見機能の強化

- ①制度の隙間になっているニーズの発見と地域住民との連携強化
- ②懇談会等の開催

地域福祉活動計画策定懇談会の様子



地域福祉活動計画の策定に私達市民の代表も参加しました。私達は市民の誰もが住みやすい福祉のまちづくりに今後とも積極的に参加していきたいと考えています。

策定懇談会委員一同

手をつなごう・支え合おう



発行年月日／平成26年3月27日

発 行／社会福祉法人東根市社会福祉協議会

山形県東根市中央一丁目3-5

TEL0237-41-2361 FAX0237-42-1350

<http://www.higashine-shakyo.or.jp>
